

グリーンコープが継続してきた「脱原発運動」の経過

1986年4月26日、世界最悪のレベル7とされる「チェルノブイリ原発事故」が起きました。その事故がもたらした自然環境汚染や食品汚染をきっかけに、グリーンコープは、「原発は人類とは共存できない」とする方針をずっと貫いてきています。そして、エネルギー多消費型社会構造の中で、グリーンコープの組合員は、自らの暮らしを見直し、子どもたちに「みどりの地球をみどりのままで」手渡すための責任を負うために、脱原発社会をめざしてきました。その取り組みの歩みです。

1979年3月28日	アメリカスリーマイル島原子力発電所メルトダウン事故(レベル5)
1986年4月26日	旧ソ連チェルノブイリ原子力発電所4号炉で爆発事故(レベル7)
1988年4月26日	九州電力に要望書提出
1988年6月29日	放射能・原発問題の取り組みについて<GC 連合常務理事会>
1988年9月8日	乾しいたけから最高76.3ベクレルのセシウム検出(朝日新聞)
1988年9月8日	「乾しいたけ」「生しいたけ」の放射能汚染の新聞報道に関する対応について<グリーンコープ連合>
1989年1月20日	「放射能・原発問題に関するグリーンコープの基本方針について」を確認
1989年2月より	グリーンコープ放射能測定室での測定開始
1989年2月22日	グリーンコープ連合第一期臨時総会で「特別決議『脱原発社会建設の取り組みをすすめましょう』」を採択
1989年3月	放射能測定室運営委員会を設置
1989年4月26日	グリーンコープ誕生1周年「消費税撤廃・脱原発決起集会」で特別決議「脱原発社会に向け、『脱原発法制定』署名活動を全国の仲間と共に成功させましょう」採択
1989年7月	脱原発法制定署名運動展開(72576名/組合員数14万人)
1990年6月28日	チェルノブイリ支援運動・九州結成
1991年6月	おおいた組合員河野近子さんチェルノブイリ支援運動・九州の医療調査団としてソ連を訪問
1992年5月13日	「九州電力の原子力発電所の新規建設・増設に反対する声明」提出
1993年1月	放射能汚染測定結果、連合機関紙「共生の時代」への掲載スタート
1993年4月	チェルノブイリ支援運動・九州に連帯してカンパ活動スタート(1896万円)。以降毎年4月に全組合員に呼びかけ
1993年4月26日	3回連続の第一回脱原発学習会開催 講師今中哲二さん(京大)
1993年9月24日	〃 第二回脱原発学習会開催 講師藤田祐幸さん(慶応大)
1994年2月25日	〃 第三回脱原発学習会開催 講師藤田祐幸さん(慶応大)
1994年6月	おおいた組合員秋月初美さんがチェルノブイリ支援運動・九州の第4次調査団としてソ連を訪問
1995年6月12日	「グリーンコープ脱原発政策」を第三期通常総会にて採択

1995年9月から	「共生の時代」に「脱原発コラム」掲載スタート(GC 連合組織委員会)
1997年2月27日	チェルノブイリ支援・募金の取り組み継続・強化(GC 連合組織委員会)
1998年8月18日	インド・パキスタン地下核実験に反対の声明を両大使館に届ける
1999年1月27日～ 2月4日	チェルノブイリ支援運動・九州 10周年企画「菅谷先生・リュドミラさん講演会」開催
1999年2月3日	太陽光発電装置設置への助成制度のスタートを確認
1999年9月10日	玄海原発プルサーマル計画の即時中止を求める意見書を九電に提出
1999年9月30日	茨城県東海村 JCO 臨界事故(レベル4)
1999年10月1日	東海村の核燃料工場の臨界事故に関する緊急声明発表
1999年10月30日	内閣府原子力安全委員会主催第5回原子力政策円卓会議「今後の原子力のあり方について」(提出レポート)
1999年11月29日	GC 連合主催学習会「脱原発社会に向かうために」講師林利秋さん、小池寿文さん(再生エネルギー市民フォーラム西日本)
2000年2月5日	おおいた主催脱原発学習会「地域ごとの自然エネルギーを」講師甲斐義徳さん(ローカルエネルギー研究会)
2001年1月12日	GC 連合組織委員会脱原発学習会 講師細川弘明さん(佐賀大)
2001年4月	高速増殖炉「もんじゅ」廃炉署名運動(51693筆)
2002年1月30日	GC 連合組織委員会脱原発学習会 講師藤田祐幸さん(慶応大)
2003年1月29日	GC 連合組織委員会脱原発学習会 講師山田英雄さん(チェルノブイリ支援運動・九州)
2004年2月12日	GC 連合組織委員会脱原発学習会 講師小出裕章さん(京大)
2004年4月28日	九電「2008年までに玄海原発にプルサーマル導入」を決定
2004年8月2日	さが主催「止めよう！プルサーマル」 藤田祐幸(慶応大)講演会
2004年9月15日	玄海原発プルサーマル導入反対署名佐賀県に提出(GC分 44010筆)
2005年1月15、16日	プルサーマル問題市民討論会(さが発)
2005年2月7日	GC 連合組織委員会脱原発学習会 深江守さん(チェルノブイリ支援運動・九州)
2005年8月29日	佐賀県と玄海町に「プルサーマルを了解しないでください」要望書提出(さが発)
2005年10月2日	経済産業省主催プルサーマルシンポジウム(玄海町町民会館で)
2005年10月28、 29、30日	「危険すぎるプルサーマルと行き場のない核のゴミ」九州連続講演会 講師小出裕章さん(京大)
2006年1月23日	GC 連合組織委員会脱原発学習会 講師小林圭二さん(元京大)
2006年12月5、6日 2007年1月15日	「六ヶ所村再処理工場を止めるのは今」連続学習会 講師澤井正子さん(原子力資料情報室) 12/5・6...かごしま 1/15くまもと
2007年1月27日	「チェルノブイリ支援運動・九州」が NPO 法人化に伴い「チェルノブイリ医療支援ネットワーク」に改称
2007年2月1日	GC 連合組織委員会脱原発学習会 講師水口憲哉さん(東京海洋大)
2007年6月13日 GC 連合総会(6/17) 特別決議採択	「六ヶ所再処理工場」に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク(阻止ネット)立ち上げ(あいコープ、きらり、グリーンコープ、生活クラブ、大地を守る会、日本消費者連盟)

2007年7月28日	阻止ネットキックオフ集会(in 東京)
2007年10月14、15日	やまぐち主催連続脱原発学習会 講師藤田祐幸さん(放射能汚染食品測定室)
2008年1月21日	GC共同体組織委員会脱原発学習会 講師菊川慶子さん(六ヶ所村在住)
2008年1月27日	再処理反対署名提出・院内集会に向けたアピール行動
2008年1月28日	再処理反対署名を総理大臣、経済産業省大臣に提出(GC分 86335 筆)
2008年3月12日	再処理工場の問題点と危険性の共有化のための院内集会参加
2008年6月7、8日	「止めよう再処理！全国集会&デモ行進 in 青森」
2008年6月12日	再処理工場を検証する院内集会(参院会館で)
2008年8月30日	さが主催GC 20周年記念企画環境講演会 講師藤田祐幸さん(放射能汚染食品測定室)
2008年11月29日	阻止ネット1周年「ストップ再処理市民集会」(東京ドイツ文化会館)
2009年1月26日	GC共同体組織委員会脱原発学習会 講師小出裕章さん(京大)
2009年4月27日	さが主催「プルサーマルを許さない」学習会 講師小出裕章さん
2009年5月10日	さが発ストッププルサーマル人文字フェスタ
2009年5月23日	MOX燃料、フランスから玄海原発へ搬入
2010年1月25日	GC共同体組織委員会脱原発学習会 講師広瀬隆さん
2010年9月4日	阻止ネット主催「再処理工場の稼働中止を求める集会」
2011年1月14日	GC共同体組織委員会脱原発学習会 講師河上雅夫さん、清水一雄さん(チェルノブイリ支援運動・九州)
2011年3月11日	東日本大震災。東京電力の原子力発電所事故(レベル7)
2011年5月	東京電力の原子力発電所の事故による放射能汚染を受けて(グリーンコープの考え方)
2011年6月15日	「東日本大震災と東京電力原子力発電所事故に関する特別決議」グリーンコープ共同体総会で採択